

クラスター 1月半ばから558件増 医療・福祉施設63%

厚労省集約

昨年1月に新型コロナウイルス感染者が初めて確認されてから今年2月1日までに確認されたクラスターが4797件にのぼることが、厚生労働省の集約でわかりました。1月18日時点の集約から558件の増加です。

内訳は医療機関796(同105増)、福祉施設1244(248増)、飲食店927、運動施設等91、学校教育施設等587、企業等894、その他258(9増)。「その他」は自宅での会食などによるクラスターだとされています。

福祉施設の内訳は高齢者福祉施設928(207増)、障害者福祉施設114(16増)、児童福祉施設202(25増)です。

1月18日からの増加のうち医療・福祉施設が63%を占めています。引き続き医療・高齢者施設などへのPCR検査で無症状感染者の早期発見、保護が重要となっています。

厚労省クラスター班は、確認されたクラスターの数は、同一場所で2人以上の感染が生じた集団感染の報道などから集計したものと説明しています。